



椎の森 工業団地

工事の前倒しも検討へ

6月定例県議会一般質問から

袖ヶ浦市選出で、県議2期目ながら地域の発展に着実な成果を上げる江野澤吉克（えのさわ・よしかつ）県議は、6月定例県議会では今任期7度目で通算15度目の一般質問に登壇しました。今議会では、東京オリンピックパラリンピックの競技会場やキャンプ地の県内誘致へ前向きに取り組むよう、県に対し強く提言しました。

また、計画中の袖ヶ浦椎の森工業団地について、江野澤県議が1日も早い完成を要望したのに対し、森田知事は「平成27年度当初には造成工事に着手するが、少しでも早期に分譲ができるよう、工事の前倒しなども検討する」と積極的な姿勢を示しました。有害鳥獣対策などを含め、江野澤県議の主な質疑を特集しました。



五輪競技会場の招致などを訴える江野澤昌議員

江野澤議員 2020
年東京オリンピック・パラ
リン。つくばは、現在の二

ろ残念ながら本県に競技会場の予定はありません。

また、世界中から来訪する多くの選手や見学客に本県の魅力を知っていたらしくとも、世界に向かって広く千葉県をアピールする機会ともなります。このため、今後は県

し、選手村からも近くで最高だ、という話をいただいた。東京国体の時は千葉県で競技をさせていた。そうした意味でも、千葉県にぜひ誘致をしようという気持ちで、働きかけを知事にお願いしたい。

1世紀に1回か2回しか来ないオリンピックを、どうか千葉県で大会ができるようのご協力を

工業団地へ誘致展開

要望 6月12日に日本 クレー射撃協会の

江野澤議員 私は、袖ヶ浦椎の森工業団地について、東京湾アクアラインの料金引き下げと圏央道の整備の進展により、首都圏各地や成田空港・羽田

森田知事　袖ヶ浦稚の
森工業団地は、昨年度、用地を取得し、県の関係部局や袖ヶ浦市と開発に必要な協議を進め、造成方法や工程を盛り込んだ基本設計を終えたところ、飛躍的に向上していること、産業が集積している臨海部に近接し、かつ災害に強い内陸の工業団地であることなどから、企業立地の期待が高い工業団地で

あり、地域経済への波及効果も大きいと考え、これまでも早期事業化を要望してまいりました。

五輪会場の県内招致を提言

を担当する君津土木事務所に「袖ヶ浦市椎の森工業団地建設課」を新設したところであり、連携を図りながら実施設計を行つてまいります。

●県政と袖ヶ浦市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

えのさわ吉克 県議事務所

有害鳥獣被害は年々増加!



本会議場で立ち上がって再質問する江野澤県議

後とも有効な方策を研究するなど、担い手の確保・育成に努めてまいります。

江野澤議員 千葉県射撃場の利用状況はどうか。

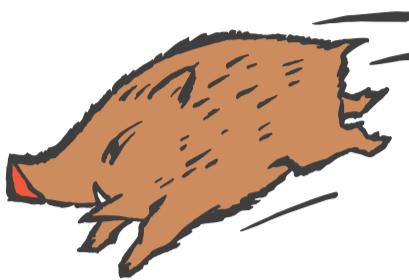
環境生活部長 県射撃場においては、昨年度個人や団体の一般利用のほか、獵銃等所持許可の更新に係る技能講習が7回、有害鳥獣の捕獲従事者の研修が11回実施されたところであり、利用者数は合計で2053名となりました。

おり、一方で、市内では農地の整備や区画整理などの公共事業も行われています。堆積土砂の活用先として、近接する事業に搬入できれば費用の面だけでなく、河川の管理と事業者の双方に利益があるのではないかと考えています。

江野澤議員 小櫃川上流域に柔らかい砂岩の層があり、浸食された土砂が下流部に堆積しやすい状況であることから、目視で状況を把握し、支障が認められた箇所について、堆積土の除去を実施しております。

除去した堆積土砂を、近隣の公共事業などに活用すること、建設発生土の有効利用やコスト縮減となることから、今後とも引き続き関係者と工事調整に取り組んでまいります。

江野澤議員 千葉県の有害鳥獣による農作物被害は年々増加しており、このまま有害鳥獣が増え続け、被害が収まらなければ農家の方々の生産意欲は減退し、耕作放棄地を増加させてしまうことになります。



県の捕獲体制整備を要望

者が不足して捕獲が進まない地域もあると聞いています。

今後は市町村だけではなく、県が主体的に千葉県獣友会と連携し、そのような地域をバックアップしていくことも考えなければなりません。獣友会と連携し、県内のどこであっても

も、年間を通して有害鳥獣捕獲を専門的に行える捕獲体制を整える必要があると思うがどうか。

野生鳥獣による農作物等の被害対策を推進するため、千葉県野生鳥獣対策本部を設置し、市町村や獵友会等の関係団体と連携のもと、捕獲や防護柵等の対策に、一体的・総合的に取り組んでいます。

江野澤議員 有害鳥獣捕獲事業の担い手となるわな獵免許の取得者数を増やしていく必要があると思うがどうか。

環境生活部長 県ではわな獵免許の所持者数を増やすため、狩獵免許試験

試験のうち1回をわな猟免許に特化して実施するとともに、わな猟免許の取得に要した経費を市町村と協調して補助しているところです。

江野澤議員 小櫃川の堆積土砂の有効利用について伺います。土砂の撤去は、これまでも継続して行われており、一方で、市内では農地

積土砂を有効利用

県土整備部長 河川の維持管理は、点検要領や巡視基準等において、目視により状態を確認することとされています。定量的な算定はし

辺地域で、農地整備や土地区画整理事業などで土砂が必要な時に、小櫃川の堆積土砂を活用できるよう、調査すべきと考えるがどうか

小櫃川堆積土砂を有効利用

江野澤議員 岐道長浦上総線に架かる富川橋は橋全体が老朽化しており、大地震の発生時などの際その機能が本当に確保できるかどうか懸念しているところです。

また、車道の幅員が狭く大型車が通行する際には非常に危険な状況にあります。富川橋架換え工事の着手は、大きな前進であります。富川橋架換え工事の進捗状況と今後の見通はどうか。

県土整備部長 昭和33年の竣工で、年が経過した老朽橋であり、耐震性も劣るところです。これから、昨年度から架換え工事に着手したところです。これまでに架換え作業用構台の設置を完了しており、今年度は現橋撤去を行ふとともに



富川橋の架換え工事現場を視察する江野澤県議

富川橋の架換え工事

に、橋梁下部工事の一部に着手する予定です。今後とも、地元関係者の協力を得ながら、早期完成が図られ